



平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 稲葉製作所
コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 江口 勤

TEL 03-3759-5181

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第1四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	6,971	△0.7	289	63.1	339	57.5	207	108.8
25年7月期第1四半期	7,018	8.4	177	—	215	—	99	—

(注) 包括利益 26年7月期第1四半期 203百万円 (100.7%) 25年7月期第1四半期 101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	12.12	—
25年7月期第1四半期	5.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第1四半期	46,150	33,539	72.7
25年7月期	46,114	33,007	71.6

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 33,539百万円 25年7月期 33,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年7月期	—	—	—	—	—
26年7月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	0.5	630	△3.7	720	△1.4	830	100.9	47.93
通期	29,900	2.3	1,600	△16.1	1,800	△13.8	1,450	13.6	83.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきまして、平成25年10月及び11月に行いました自己株式の処分に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期1Q	17,922,429 株	25年7月期	17,922,429 株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	539,858 株	25年7月期	939,814 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期1Q	17,082,615 株	25年7月期1Q	16,982,616 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。金融商品取引法に基づき四半期報告書に添付する四半期レビュー報告書は、本日受領予定であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により、輸出や生産の持ち直し、企業収益の改善など明るい兆しが見え始めました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や輸入価格の上昇など、国内景気を下押しするリスク要因もあり、依然として先行きの不透明感は拭えない状況となっております。

このような状況のもと、当社グループが関連する鋼製物置業界におきましては、物置需要動向に直接関連する新設戸建住宅着工戸数は、回復の動きがあり、雇用や所得環境の改善が伴えば更に加速するものと思われれます。オフィス家具業界につきましては、首都圏での大型物件の減少や投資に対する企業の慎重な姿勢と激しい価格競争により、極めて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置セグメントにおきましては、昨年の10月に「圧倒的高さと存在感」を誇る『イナバ倉庫』、5月には断熱材をプラスした『NEXTA+（ネクスタプラス）』を発売いたしました。オフィス家具セグメントにおきましては、独自製品とOEM製品との生産合理化に向けた部材の共通化を実施し、部品点数削減及び軽量化を進めたデスク、ワゴンの生産を開始し、1月には『DUENA（デュエナ）』（業界推奨H720デスク）、2月には『Y e r a（イエラ）』（スタンダードチェア）を発売いたしました。全体として売上は若干下回りましたが、大型製品の比率が高まった事等により、損益は改善いたしました。

以上の諸施策を推進し業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.7%減少の6,971百万円となりました。損益面につきましては、製造原価の低減に取り組んだ結果、営業利益は289百万円（前年同期比63.1%増）、経常利益は339百万円（前年同期比57.5%増）、四半期純利益は207百万円（前年同期比108.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第1四半期連結累計期間(自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)
鋼製物置	4,845	100.4	69.5
オフィス家具	2,125	97.0	30.5
合計	6,971	99.3	100.0

(鋼製物置)

売上高は小型収納庫、一般物置におきまして東北地方における昨年の仮設住宅向け納入に伴う反動減があるものの、全国的な防災意識の高まり、ガレージシリーズ、イナバ倉庫等大型製品が寄与し、4,845百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は569百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

(オフィス家具)

部材の共通化を実施し、部品点数削減及び軽量化を進めたデスク、ワゴンの生産を開始するとともに、顧客の要望に合致した新製品（デスク、チェア、地震対策オプション）の開発に努めてまいりました。しかしながら、OEM先向けの販売は伸び悩み、依然として熾烈な価格競争が続いている状況にあります。

その結果、売上高は2,125百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント損失は66百万円（前年同期は133百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、有価証券が500百万円増加したこと等により35百万円増加して、46,150百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が253百万円減少したこと等により496百万円減少して、12,611百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ、自己株式の処分により資本剰余金が155百万円増加及び自己株式が342百万円減少したこと等により532百万円増加して、33,539百万円となりました。その結果、自己資本比率は72.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月13日の決算発表時に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,138,840	15,849,863
受取手形及び売掛金	7,439,729	6,926,582
有価証券	—	500,000
商品及び製品	1,600,741	1,742,124
仕掛品	168,464	132,116
原材料及び貯蔵品	284,038	305,135
その他	457,803	539,724
貸倒引当金	△5,252	△7,096
流動資産合計	26,084,365	25,988,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,506,720	3,875,456
土地	12,277,908	12,277,908
その他（純額）	1,525,696	1,235,689
有形固定資産合計	17,310,325	17,389,054
無形固定資産	78,618	152,305
投資その他の資産		
その他	2,641,852	2,621,360
貸倒引当金	△444	△515
投資その他の資産合計	2,641,408	2,620,844
固定資産合計	20,030,352	20,162,203
資産合計	46,114,717	46,150,653
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,750,637	6,497,128
未払法人税等	359,456	191,558
賞与引当金	256,049	517,505
その他	2,458,952	2,151,999
流動負債合計	9,825,096	9,358,192
固定負債		
退職給付引当金	2,099,377	2,057,392
役員退職慰労引当金	403,582	408,927
その他	779,470	786,734
固定負債合計	3,282,430	3,253,053
負債合計	13,107,526	12,611,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	918,708
利益剰余金	31,820,189	31,857,451
自己株式	△805,779	△462,884
株主資本合計	32,909,958	33,445,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,232	94,082
その他の包括利益累計額合計	97,232	94,082
純資産合計	33,007,191	33,539,406
負債純資産合計	46,114,717	46,150,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	7,018,730	6,971,202
売上原価	5,325,537	5,103,995
売上総利益	1,693,192	1,867,206
販売費及び一般管理費	1,515,793	1,577,918
営業利益	177,399	289,288
営業外収益		
受取利息	6,550	4,347
受取配当金	90	90
作業くず売却益	18,482	26,571
電力販売収益	—	27,387
雑収入	13,189	15,938
営業外収益合計	38,312	74,334
営業外費用		
支払利息	320	495
株式交付費	—	7,211
電力販売費用	—	16,613
雑損失	2	26
営業外費用合計	323	24,347
経常利益	215,388	339,276
特別利益		
固定資産売却益	400	33
保険解約返戻金	5,132	—
特別利益合計	5,532	33
特別損失		
減損損失	17,975	2,680
その他	2,918	509
特別損失合計	20,894	3,189
税金等調整前四半期純利益	200,026	336,120
法人税、住民税及び事業税	159,369	182,030
法人税等調整額	△58,537	△52,997
法人税等合計	100,832	129,032
四半期純利益	99,194	207,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
四半期純利益	99,194	207,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,426	△3,149
その他の包括利益合計	2,426	△3,149
四半期包括利益	101,621	203,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,621	203,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,827,992	2,190,737	7,018,730	—	7,018,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,827,992	2,190,737	7,018,730	—	7,018,730
セグメント利益又は損失(△)	530,000	△133,174	396,826	△219,427	177,399

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△219,427千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては17,975千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,845,740	2,125,462	6,971,202	—	6,971,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,845,740	2,125,462	6,971,202	—	6,971,202
セグメント利益又は損失(△)	569,863	△66,068	503,795	△214,507	289,288

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△214,507千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては2,680千円であります。